

犬・猫の苦情が増加しています

役場や保健所には犬や猫に関する苦情がたくさん寄せられています。苦情の中で多いのは「道路などにふんが放置されている」、「庭にふんをされた」、「鳴き声がうるさい」などです。

これらの苦情のほとんどは飼い主が飼い方に気を付ければ改善できるものです。

近隣の方々に迷惑をかけないように、気配りと正しいしつけをして責任を持って飼育しましょう。

犬のふんは飼い主が持ち帰りましょう

飼い犬に関する苦情の中で一番多いのはふんの不始末。散歩の時、犬がしたふんは飼い主が必ず自宅に持ち帰り、処理してください。

不妊・去勢手術を受けさせましょう

飼っているメス猫の出産を望まない場合や子猫たちを飼う余裕がない場合は不妊手術を受けさせましょう。

またオス猫はおとなになると独特の声で鳴いたり、くさい臭いのおしっこをあちこちにひっかけてまわったりします。去勢手術をするとこれらの行動がほとんどなくなります。

猫は屋内で飼うことをおすすめします

猫は上下に動ける空間とトイレや爪つぎなど出来る場所を作ってあげれば屋内でもストレスをためずに飼うことが出来ます。

さらに屋外は猫にとって交通事故や病気などねこにとって危険がいっぱいです。

首輪をつけましょう

飼い猫のしるしとして首輪を付け、迷子になっても飼い主が分かるように名札を付けましょう。

野良猫にエサを与えている方へ

無責任にエサだけ与えるとその場所に野良ねこが集まり、ふんをしたり、ゴミを荒らしたりします。

また、飼い主のいないかわいそうな猫をますます増やしてしまい、結果的に地域の方々に迷惑をかけることとなります。



ペットはあなたの家族の一員です。
責任をもって飼いましょう。